

どこにでも行ける。行き先をほぼ決めるとスターアライアンスのサイトを使って航空機の予約や変更など色々試しながら決めて行くことが出来る。利用する航空機にヨーロッパや北米内のようにビジネスクラスがない場合に、このチケットでファーストクラスが利用出来る。

レンタカーか鉄道パスか

一般論としてはヨーロッパでは鉄道が発達しているがアメリカではレンタカーが良い。しかし、基本的には私はヨーロッパでもレンタカー利用を勧めたい。レンタカーを利用するには運転免許証発行所に行って国際免許証（一年間有効）を取ってこなければならない。しかし、もしアメリカでの運転免許証を持っておれば世界中で使える。その理由はアメリカの運転免許証が特別の免許証であるからではなく、ただそれが英文で記載されているからに他ならない。ところが、日本の免許証は日本語記述のみであるため、外国では通用しない。そもそも、日本人に運転免許証を交付している日本の公安当局は国際免許証の発行以外にも、いろいろな形で国民から見えない税金をふんだくっている。まず、公安の天下り先の自動車学校に行かないと実質的に運転免許証が取得出来ない仕組み作り、数十万円の見えない税金をぶったくっている。欧米ではこんな馬鹿げた話はない。アメリカでは高校の体育の時間に自動車運転を教えて、免許証が取れるような仕組みになっていて、免許証を取るのに特別の費用はかからない。私の家内など、アメリカで20年以上無事故無違反で運転していたのに日本でのテストで2回も不合格となり、その度に自動車学校に行くように指示されている。1回目に落とされた理由は、踏切での一旦停車のときに車の窓を開けて、警報機の音を聞くふりをしなかったからで、2回目に落とされた理由はテスト用の車に乗る前に、車の周りを見て回ってタイヤをけったりしてチェックをしなかったからだ。自動車学校に行けばこうした受験ノウハウを教えてくれるそうだ。こんなばかばかしい運転免許証でも国際免許証をいただくのには必要となる。そもそも、日本の運転免許証でもその裏面に英文記述がしてあれば、国際免許証は不要になるはずではあるが、利権を行使出来なくなることを恐れてか、いまだに世界で通用しない免許証を

発行し、その上に国際免許証を二重に発行しては見えない税金を取っている。ちなみにアメリカで国際免許証をもらうには、日本のJAFに相当する民間組織AAAが発行してくれるので安くて便利である。

日本の公安が徴収する国民からの見えない税金は他にもある。近年若い人の車離れの結果、自動車学校の入学者が減少し、天下り先の収益が十分確保出来なくなったことに危機感を感じた公安当局は、高齢者に目を付け、70歳以上の老人に免許更新時に講習を受講させる法律を作り、1回6,000円を徴収して講習会への出席を義務づけた。講習会に行ってみると、まったく愚にもつかない機械での運転テストなどに丸一日時間を取られた上に、講習料を支払わされる。この運転テストシミュレータには世の中に存在しない「黒」色の信号が出てくる。この時にどうするかと言えば、なにもしないのである。どこの世界に黒い信号があるのか？

話を元に戻して、鉄道かレンタカーかの選択の話をしよう。私は鉄道網が発達しているヨーロッパでもレンタカーを勧めたい。その理由はレンタカーが安くなったことと、逆にユーロパスが不便になったからだ。



レンタカーで訪れたイタリアアルプスの Dolomiti

数年前迄はヨーロッパでの Avis や Hertz などの大手のレンタカー会社の利用料金は、アメリカに比べ同じ条件では2倍以上していた。そのため、私は現地でのレンタカーを探すか、長期に借りる場合には Europe by Car というアメリカの会社 (www.europebycarblog.com/) を利用していた。しかし、2011年の旅行では Avis のサイトで料金を見ると、むしろこちらの方が安い場合があるのを発見した。例えば、アイルランドで1週間小型車を借りたが、料金は171ユーロと随分手頃になっていた。

余談になるが、アイルランドの車の旅はいろんな点で変なことを経験する。まず、道路標識がゲール語と英語の二カ国語で書いてあるので戸惑う。郊外での速度制限は極めて道幅が狭く、ガタガタの道でも一律に時速 100 キロメートルとなっている。Dublin の周りの有料道路という標識のある高速道路を走っていてもどこにも料金所がなく、高速を出る所の電光表示板に“Pay Tomorrow”という文字が出てくる。週末だからかなと思っていたら、3 ヶ月経って帰国後に 500 円ほどの請求書が届いた。素朴だが、へんちくりんな国である。

一方イタリアで借りた BMW120i は大変走り易く、小型でありながらスタイル、性能（1.6 リッターのツインターボエンジンで出力 170 馬力、最高時速 225km、時速 100km までの加速時間 7.5 秒、その上 10 モードのリッターあたりの走行距離が 17.2km）それに足回りの良さで国産車にないユニークなものがある。この場合も帰国後、Avis から追加料金 25 ユーロの請求書が届いたので見ると、いつの間にかスピード違反をしていた模様で、レンタカーの場合にもこうした罰金は免れることが出来ない所以要注意。ちなみにこの車種は日本での 10 月に発売されたので、私は車検時期の来たレクサス G350 を売却して買い替えることにした。



レンタカーで訪れた屋上の石に接吻すると雄弁になると言われているアイルランドの Blarney Castle

大手のレンタカーの予約は出発前に日本でしておくが良い。この場合ヨーロッパとアメリカでは事情が違いうことに注意する。アメリカではオートマチック車とエアコン装備が当たり前になっているのでわざわざチェックする必要はないが、ヨーロッパでのレンタカーでは、これらの点を確認した方が良い。ヨーロッ

パの夏は涼しいといってもエアコンはあった方が良く、ギアシフトの車は左ハンドルの上、右手でのギアシフト。慣れてないとトラブルの元になるので、これらの点は予約段階でチェックしておく。現地についてからのレンタカーも勿論可能であるし、探せば安い店も見つかるが、故障したときの連絡先などをしっかり確かめておかねばならない。

一方ユーレイルパス (<http://www.ohshu.com/>) と言えば、ファーストクラスでスペインとフランス共通 8 日間のパスが、2011 年夏での値段が一人 342 ユーロだった。この値段はほぼレンタカーと同じだが、例えば 2 人で利用すると倍になるのでレンタカーの方が安いということになる。ただレイルパスは利用した日のみに適用されるが、レンタカーは使っても使わなくても、契約期間全体の値段となるので、例えば 1 ヶ月滞在し、その間に 8 日だけ電車を利用して旅行したいという場合にはレンタカーを 1 ヶ月借りるよりは安くなる。しかし、レンタカーで旅行すると、郊外の安くて良いホテルを予約なしに、行き当たりばったりで利用出来るという利点がある。街中のホテルに宿泊するのに比べホテル代が安くなるため、レンタカー代が浮くこともある。

ユーレイルパスの問題点は、パスが利用出来る車両や座席が制限されているという点である。このため、希望の日の希望の時間の列車が利用出来るとは限らない。例えば同じ日に希望する区間で何本も列車がある場合、往々にして早朝か、夜遅い車両しか利用出来ないことが多く、便利な時間に乗りようとすると通常の料金を支払わなければならない。

こうした点を考慮すると、運転に自信があればレンタカーがお勧めということになるだろう。特に英国圏では左側通行なので運転の心配もない。レンタカーの料金には普通、対物・傷害保険はついていないが、車の保険は免責以下の分はついてないので掛けておいた方が良いでしょう。アメリカで発行されたクレジットカードを使うと、カード会社が車両保険をかけているので、その必要はない。

ホテルについて

飛行機や列車で旅行する場合のホテルは、予め予約しておいた方が着いてから荷物を抱えてパタパタしな



電車で訪れたフランス Carcassonne の古城

くて済む。ホテルの予約には滞在日数や好みでいろんなサイトが使える。比較的長期滞在の場合には、キッチン付きのスイートかセミスイートの部屋がいい。ホテルチェーンでは、例えばヒルトン系の Homewood Suites、Embassy Suites 等がある。その上、場所によっては朝食、夕方のアルコール等飲み物や軽食が付いて来る所もある。ヨーロッパのホテルは、最近朝食なしのものが増えているので要注意である。しかし、近所で朝早く開いているパン屋やコーヒーショップがあるので、これらを利用すれば問題ない。

格安のホテルは全額前払い、予約変更不可といったものが多いので、これも注意しなければならないが、通常の場合には前日あるいは当日 6 時までならキャンセル OK というのが多い。ヒルトンやスターウッドのような世界規模のホテルでは、会員（無料）になっておくとポイントを貯めたり、予約のときにいちいち個人情報を入力しなくても良いのが便利である。

ポイントと言えば、不特定多数のホテルに予約可能なホテルズコム (<http://jp.hotels.com/>) が便利な上、最近ポイントも取得出来る場合もある。今回のヨーロッパ旅行にはこのサイトを利用して重宝した。このサイトでは場所と料金以外に、インターネット、ジム、駐車場等のホテル内の設備、星の数、以前の宿泊者の評価等も検索出来るのですこぶる便利である。個人情報を登録しておけばクレジットカードで予約出来、料金は予約と同時にカードにチャージされるが、キャンセルすると 1、2 日中に返金される。料金が外貨表示の場合にはこの間に為替レートの変動があると、損得が発生する。予約の確認はレンタカーと同様、プリントして持って行くのが良い。

レンタカーで旅行する場合には、前述の通り予約な

しで旅程に縛られないのでかえって便利である。走りながら見つけるのも楽しみだ。シーズンの時、ポピュラーなリゾート地ではホテルが中々見つからず、農家の家畜部屋の上の部屋に泊まったこともあるが、大体は問題なく見つけることが出来る。とりわけ、日本の民宿にあたる Bed and Breakfast (BB) や空き部屋有り（ドイツ語では Zimmer Frei）と書いてある所で案外おいしい料理が出て来ることもある。



電車で訪れたスペイン Barcelona のカタロニアン美術館にある中世の絵画、日本人の好きな印象派の絵画と異なり、こうした中世の絵はまた別の面白さがある。

通貨と支払い

現地での支払いはホテルやレンタカーはもとより、高速道路の料金、コーヒー 1 杯に至る迄クレジットカードを使うことにしている。外国での支払いには僅かなサービスチャージが加算されるが、現金を現地の通貨に変換するよりは安くつく。ATM で現地の通貨を得るのも良いが、カードを利用すると殆ど現金を持つ必要はない。小銭が余った場合、空港で寄付して来るのも良いが、空港でのお土産店で余った小銭を全て差し出し、差額をクレジットカードに付けると、各国の小銭が貯まって困ることはない。この点ユーロ圏では通貨が統一されているので便利になった。チップの額は国によって違うが、アメリカが 15～20% であるのに対し、ヨーロッパの国々ではもっと少なくいい。アメリカやカナダでカードで支払う場合、最近はチップの額がパーセントで予め指定されて出て来ることもあるので要注意である。しかし、レストランのウェイターやウエイトレスは、その収入の殆どをチップに頼っているの、チップは無視出来ない。

カード類と現金は別にして持ち歩くのが安全のため重要だ。私は一度も盗難に遭ってないが、家内は現

金はもとより、腕にはめている時計まで取られたことがある。

携帯品

旅行の携帯品リストや旅行前の各種の準備は、メモにして用意している。私の場合の例を挙げると、旅行前のチェックリストとして

1. 航空券の予約番号（最近は電子チケットになっていて航空券は持たずに行き、空港のカウンターでパスポートを提示するか機械に表示すると搭乗券が発行されることになっている。予約時に希望の座席も指定しておくのが便利である。）
2. パスポートとビザ（米国の場合は3月以内の滞在ではESTA (Electronic System for Travel Authorization : http://www.cbp.gov/xp/cgov/travel/id_visa/esta/) をネットで申請する。2年間有効。EC 諸国はビザ不要。
3. レンタカーやホテルの予約確認証
4. 運転免許証、カード類、カメラ（GBS 機能付、ビデオ撮影可能のものが良い）。洗面具、ヨーロッパ用の電源アダプター、パソコンやカメラの電源、充電器、薬品類。衣類は古いのを持って行って使い捨てるのが良い。JAF の会員証（米国の AAA の店で地図を無料でもらえるので便利）、外国での健康保険の請求書類（<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000044385.html>）携帯パソコン、現地の地図、ガイドブック、歴史書など。

外国での通信手段

通信手段は電子メールが最も便利である。殆どのメールサイトは国外でも接続可能になっている。私は軽量で使い勝手の優れているアップルの Macbook Air を持って行くことにしている。この機種はハードディスクが入ってないので、落としても壊れないのが良い。実際、ホテルのロビーのコンクリートの床に落としたことがある。パソコンを持って行かない場合は、現地のコンピュータを使ってメールを読むことが出来るが、これには yahoo mail などのインターネットメールサイトに入会（無料）し、予め自分宛のメールを転送するようにしておけば、mail.yahoo.com などでインターネット上でメールを見ることが出来る。

海外で電話を使うのは大変面倒で高価である。日本

の携帯を使うと日本経由で接続されるので通話料金が嵩む。このため私は、Skype (<http://www.skype.com/intl/ja/>) を使うことにしている。Skype やアップルの Face Time は相手もパソコンを持っておれば無料でビデオ電話が出来るが、相手方の普通の電話にかけたい場合には Skype の有料サービスに登録しておけば、毎月 1,500 円程度で世界中無制限に電話をかけることができる。近頃は殆どのホテルでインターネット接続が無料で利用出来る上、最近マイクロソフトがオーナーになってから質が良くなった。Skype はパソコンがなくても iPad や iTouch でも使える。

ゴルフやスキー

海外旅行でのゴルフやスキーも旅行の楽しみの一つである。スキーの板やゴルフバッグは空港でチェックインして運べるが、到着空港で受け取るには通常の手荷物の出てくるコンベアからは出てこなく、Extra-large Luggage とか Odd Size Luggage という標識のある特別の出口から出て来るので要注意である。スキーをしたければブーツだけを持って行って、あとは当地でレントする方が便利だ。ゴルフに付いても同様で、私はドレスシューズのように見えるゴルフシューズを履いて旅行することにしていて、余分な靴は持ち歩かないことにしている。クラブは当地でレントしてもいい。ペンキの剥げたような道具が出て来ることもあるが、案外これが良く飛ぶ。

旅行中のトラブル

旅行中のトラブルは未然に防ぐようにしたい。例えば接続時間が 30 分以内の旅は組まないようにしないと空港で走らねばならないし、手荷物が来なくなることになる。チェックインしたスーツケースなどの手荷物がコンベアから出てこなかったら、luggage counter に行つてその旨を報告し、来なかったスーツケースの形、色などを報告し、行き先のホテルの名前、電話番号などを伝えておく。同時に、相手の電話番号も聞いておき、トレースの状況を後で聞けるようにしておく。普通は 24 時間以内にホテルに届けてくれるが、場合によっては 1 週間ほど行方不明になることもある。以前、スーツケースのハンドルが取れてしまって、そこに付けておいた ID がなくなったために 1 週間以

上も経ってからやっと届いたことがあるので、自分の名前や住所はハンドルに付けずにスーツケースのポケットなどに入れておくのが肝要である。

最近ではテロ対策の為に米国内のフライトでチェックインするスーツケースには鍵がかけられなくなっている。しかし、当局から許可されている鍵を使えば、鍵をかけておくことは出来る。

パスポートなどの貴重品はホテルの金庫に入れておき、持ち歩かない方が良い。カードと現金は別にして、盗難にあっても現金だけで済むようにする。

事故を起こしたときには、現地の警察からの事故証明を取っておく必要がある。また、当地での日本領事館の連絡先を知っておくことも大事だ。

旅行中案外忘れがちなのは、現地の時間に時計を合

わせておくことだ。飛行機で着く場合には、最近液晶画面で時間の情報が出てくるが、例えば英国とヨーロッパ大陸の間に1時間の時差があることを忘れないようにしたい。米国内やロシア国内での時差も注意しなければならない。

おわりに

私の経験に基づいて世界旅行の長谷川風ノウハウを披露した。バック旅行にはそれなりの便利さがあるが、旅行はなるべく自分で計画し、団体ではなく、個人行動で行いたいものである。

(通信 昭和32年卒 34年修士)

海外赴任または海外在住の皆様へ

海外にお住まいの終身会員の皆様には、エアーメールで会誌を送付させていただきますので、海外赴任されます場合は、必ず送付先をお知らせ下さい。なお、ご転居・ご帰国の際は、速やかにお届けいただきますようお願いいたします。

年会費会員の皆様には、誠に申し訳ございませんが、赴任後の会費納入が困難となりますので、終身会員への移行をお願いいたします。